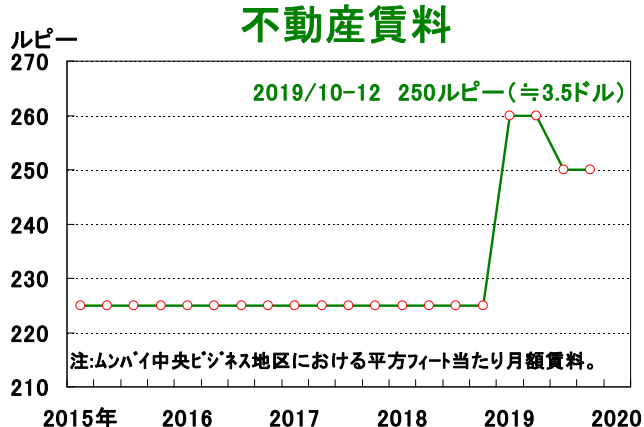
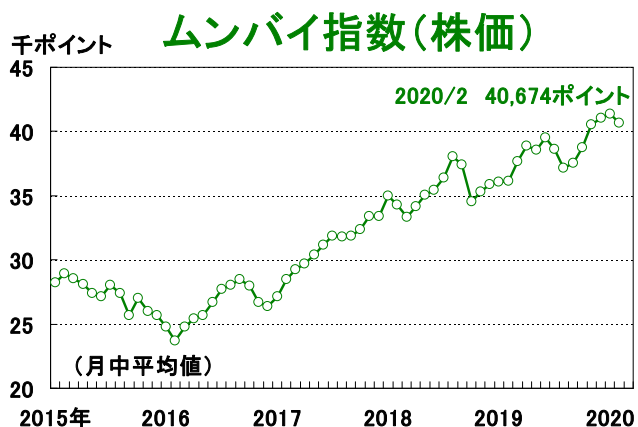
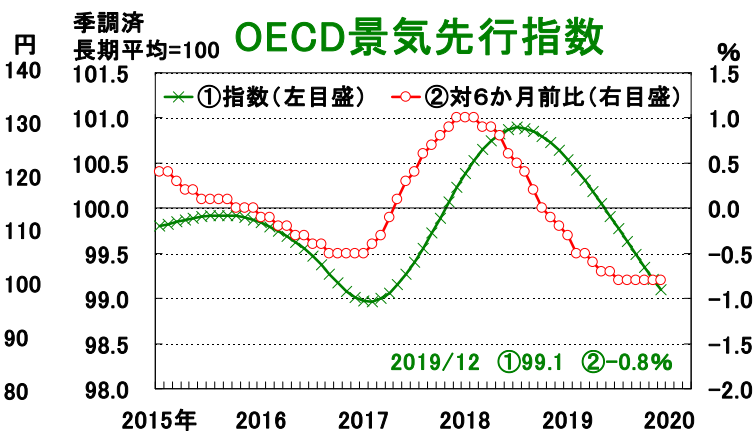
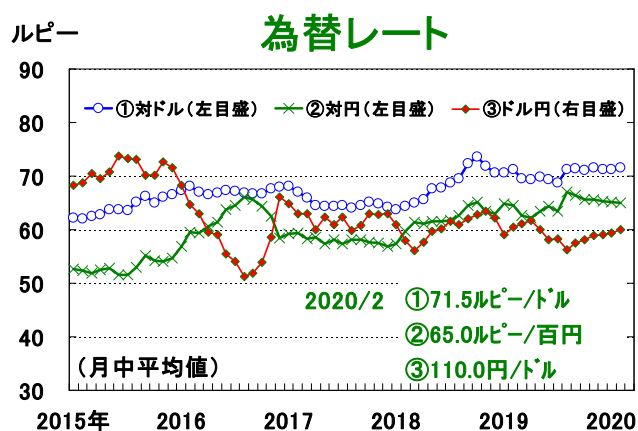
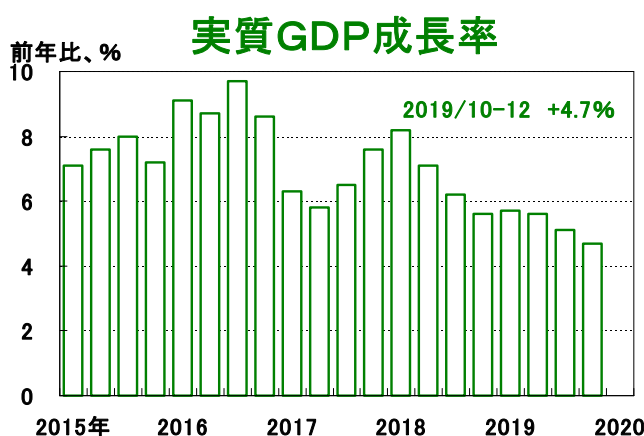
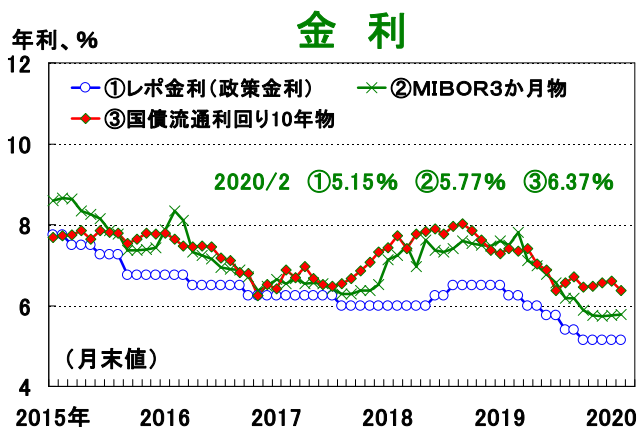


# グラフで見るインド経済 2020年3月号(No. 123)

19年10～12月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+4.7%(前期は同+5.1%)と、2013年1～3月期以来の低成長となった。個人消費(7～9月期:前年比+5.6%→10～12月期:同+5.9%)が伸びを高めたものの、総固定資本形成(7～9月期:同-4.1%→10～12月期:同-5.2%)と輸出(7～9月期:同-2.1%→10～12月期:同-5.5%)は共に減少幅が拡大した。直近の月次指標をみると、1月のコア産業生産指数は前年比+2.2%と2か月連続で上昇し、2月の製造業PMIも54.5と前月の55.3から小幅に低下したものの高水準を維持した。

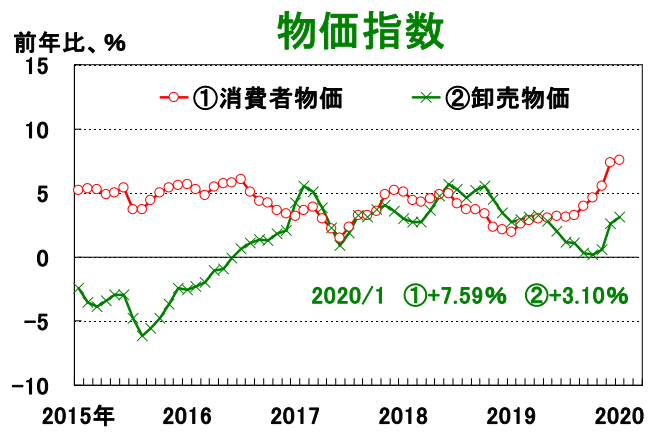
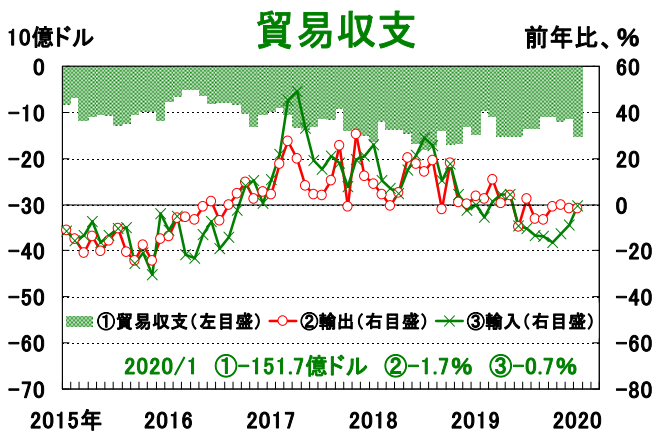
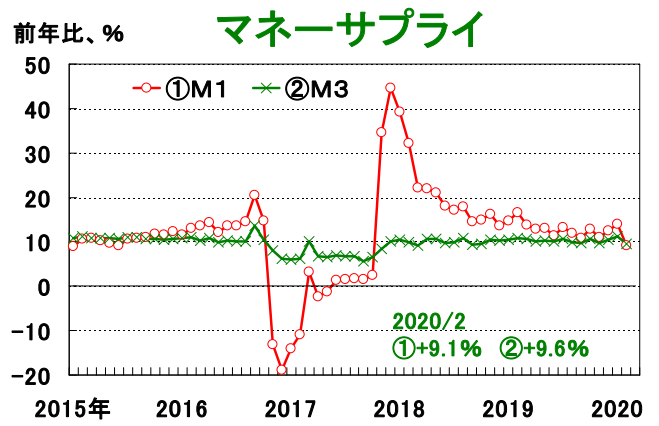
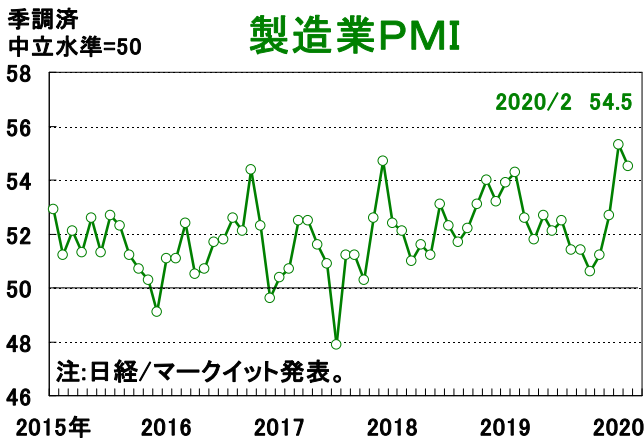
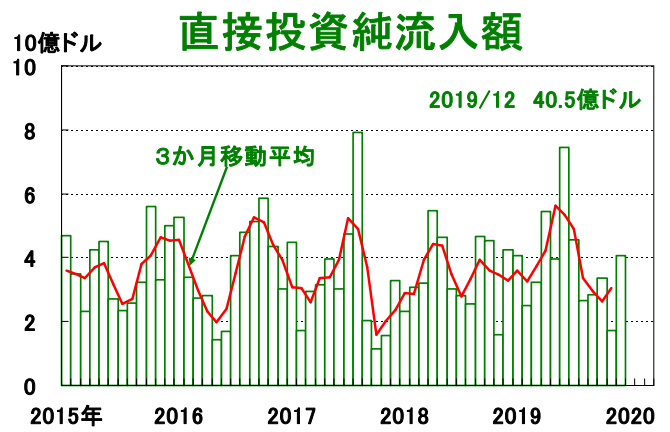
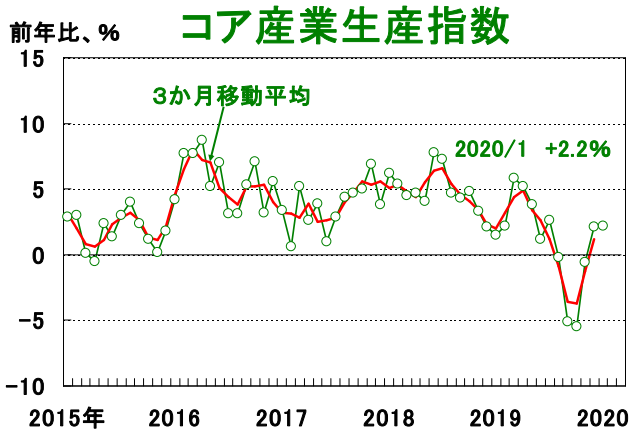
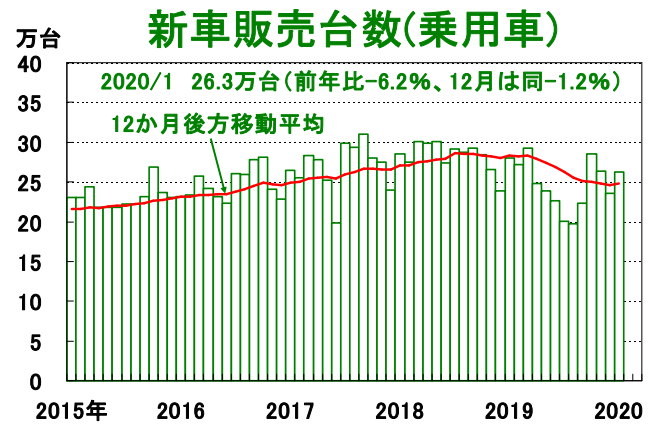
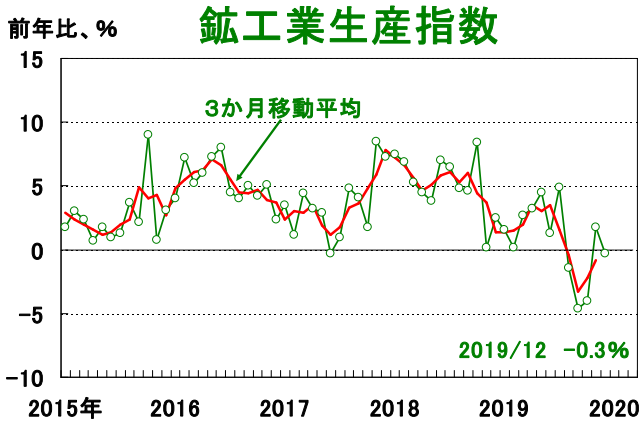
【足元の景気判断】					
指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	↓	↓	↓	→	↑

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。